

日本における Surgical Oncologist のありかた委員会班

千葉大学 名誉教授 磯野 可一

今年度の委員会メンバーは右表のごとくである。

今年度の委員会は、2006年2月28日（火）にルビーホール 富士の間（大丸百貨店12階）で開催された。

出席者

WFSOS member：磯野可一、生越喬二（東海大消外）、幕内博康（東海大消外）、上西紀夫（東大臓器病態外）、山岸久一（京都府大消外）

外科系班員：久保田哲朗（慶大外）

内科系班員：松川正明（昭和大豊洲消化器）

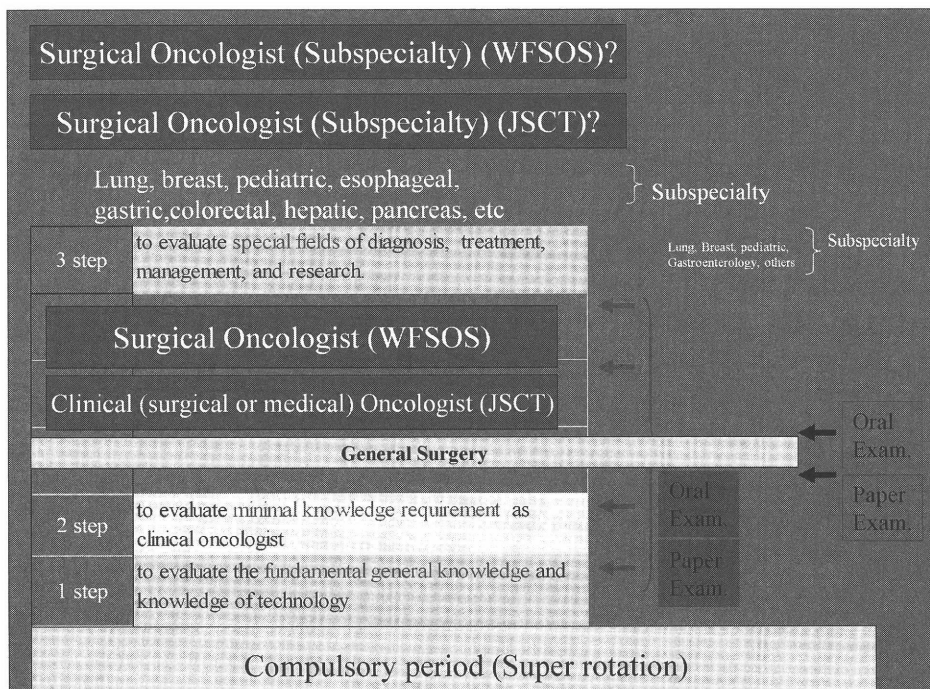
基礎系班員：張ヶ谷健一（千葉大腫瘍病理）、佐藤昇志（札幌医大病理1）

まず、磯野可一名誉会長から、本研究会が World Federation of Surgical Oncology Societies (WFSOS) に関わる経緯、および、1999年から2000年にかけての本研究会の班研究『日本における oncologist の教育、訓練、評価に関する研究』（W'Waves Vol. 6, 69, Vol. 7, 82-84）についての説明があり、現在の日本におけるがん治療専門医制度の国内の動きと問題点について述べられた。続いて、生越喬二会長より、2005年4月25-27日にインドネシアのジャカルタで行われた WFSOS 委員会で我々の意見、提案を述べたことが報告された。すなわち、3段階案を提案してきたことが報告された。

外科学会での外科専門医制度の見直し案の現状について幕内博康委員より説明があった。久保田哲郎委員より、主に、日本癌治療学会で検討されているがん治療専門医制度の現状と問題点について説明を受けた。

総括（磯野）

1. 現在のがん治療認定医制に関する共通カリキュラムに JSCT として意見が反映されないか。
2. WFSOS に日本代表として参加しているの、次回の WFSOS 委員会 (2006年9月21-24日、インド) で現在の日本のがん治療専門医制度の状況を報告する。
3. 現在、日本でいろいろ多方面で議論されているので、現状では、本班研究は一時、生越現会長預かりとする。



委員会メンバー

班長	磯野 可一	千葉大学 名誉教授	
	生越 喬二	東海大学医学部	消化器外科
	幕内 博康	東海大学医学部	消化器外科
	上西 紀夫	東京大学大学院医学系研究科	臓器病態外科学
	山岸 久一	京都府立医科大学大学院	消化器外科学
	前原 喜彦	九州大学大学院医学研究院	消化器・総合外科 (第2外科)
	久保田哲朗	慶應義塾大学医学部	一般消化器外科
	山名 秀明	久留米大学	集学治療センター
	加藤 抱一	国立がんセンター	外科 臨床検査部長
	新津洋司郎	札幌医科大学	第4内科
	松川 正明	昭和大学附属豊洲病院	消化器科
	松島 綱治	東京大学大学院医学系研究科	社会医学専攻社会予防医学講座分子予防医学
	張ヶ谷健一	千葉大学大学院医学研究院	腫瘍病理学
	佐藤 昇志	札幌医科大学	病理学第1

(順不同)